

## IV. 地域・文化への貢献と農業振興

### 1. 地域貢献活動



#### ◇お飾り教室開催

准組合員向けの企画「正月用お飾りづくり教室」を開催しました。准組合員の皆さまに、JAあいら伊豆地域が正月飾り用ダイダイの全国有数の産地であることを広く知ってもらい、農家組合員の方が手づくりで作ってきたお飾りの技術を学び、自分たちの手でお飾りをつくり良い年を迎えてもらおうと親子での参加を含め延べ33名の方にご参加いただくことができました。



#### ◇JAあいら伊豆女性大学「ハピ・カレ」入学式実施

JAあいら伊豆女性大学「ハピ・カレ」を開講し、本店会議室で入学式を行いました。第1期生となった受講者は、管内在住の20代～50代までの女性部には加入していない女性21名。女性大学は、主にカリキュラムを通じた仲間作り、自分たちのやりたい事を発見、地産地消による地元農業保全、等の目的で開講されました。農業体験、料理教室、マナー講座など全8回のカリキュラムを実施します。



#### ◇人形供養祭実施

9月13日、JAホール宇佐美にて、地元伊東市立宇佐美幼稚園の園児23名を招き、第5回人形供養祭を行いました。今回の供養祭では、38名の申込みがあり、集まった供養料は、全額日本盲導犬協会に寄付されました。同時に、日本盲導犬総合センター富士ハーネスの協力のもと、盲導犬ふれあい体験も実施しました。

### 2. 農業振興活動



#### ◇新規就農育成事業卒業生 いで湯っこ市場へ出荷

三の原トレーニング圃場での新規就農育成事業による卒業生が「やさい工房三の原」を立ち上げ、いで湯っこ市場への出荷が開始されました。いで湯っこ市場にて特設コーナーを設けて、ナス・おくら・ピーマンなどの夏野菜などが店頭に並びました。



#### ◇クッキングトマト「アイランドルビー」普及への取組み

農業者の高齢化等が進む管内で、手間をかけず栽培できる、クッキングトマト「アイランドルビー」普及への取組み開始されました。JA名の「あいら」と伊豆半島イメージした「ランド」赤色の「ルビー」を組み合わせ、「アイランドルビー」と名付けました。地域の新たな特産物にするべく、生産者が一丸となって取り組んでいます。



#### ◇管内農産物 学校給食への納品開始

地産地消の新たな取組みとして、9月から管内農産物の学校給食への納品が開始されました。伊東市内の中学校、小学校用に納品しており、今後も給食への納品を通じて、地産地消、生産者の育成・農家の意欲向上等を図っていきます。

### 3. 自己改革への主な取組み状況

J A あいら伊豆は、「農家組合員の農業所得向上」と「地域社会への適切なサービス提供」を柱に自己改革に取り組んでいます。

農業所得向上については、J Aの強みを生かし、生産部会員・ファーマーズマーケット出荷者等を重点に取り組んでいます。

また、地域に根ざした協同組合として、信用事業・共済事業・生活関連事業（購買・葬祭）など様々な事業や活動を行い、農家組合員・准組合員さらには地域の方々に必要なサービスを提供しています。地域で様々なサービスを利用して頂くことで、営農指導や農業関連施設への投資などが可能となり、農家組合員の農業所得向上につながっています。

J Aは、農業者を中心とした組合員が「力を合わせて」共通の願いをかなえるために組織した「協同組合」です。J A あいら伊豆は、話し合いを通じて組合員の「思い・願い」を受け止め、今後も事故改革に取り組んでいきます。

#### 1. 農家所得向上に向けた取組み

##### ◎営農指導事業

##### (1) 後継者が育つ農家の育成

- ①柑橘類・キウイ・いちじく共販出荷者を対象に、直販体制を重視した少量多品種、多品目栽培の提案を行い、周年供給が出来る体制の構築に取り組む。  
キウイフルーツにおいて、生産者に対し、作業の分散化と収入増を目指すため、収穫時期が異なる東京ゴールド、アップルへの改植を推奨。

##### 【改植事業の状況】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
東京ゴールド	1件(接木)	-	1件10本5アール
アップル	-	1件10本5アール	1件10本5アール

##### ②新たな作物栽培による農業所得の向上（アイランドルビーの栽培）

- ・ 蔬菜生産者の呼びかけに呼応し、高齢化対策としての軽労働栽培で新たな特産物となり得る作物として調理、加工用トマトの栽培の普及を決定。

平成28年度の作付け本数	5年後の作付本数	5年後の生産目標
2,276本	8,750本	12トン

##### (2) 地域を元気にする農家の支援

- ①果樹経営支援対策事業と組合独自の支援事業を実施し、産地基盤の整備を推進する。

- ・ 柑橘生産者が果樹経営支援対策事業を利用して改植事業を実施。
- ・ 果樹経営支援対策事業に該当しない農家に対して「あいら伊豆農協果樹改植事業要領」を新設し、改植事業の支援を実施。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
改植者	2名	1名	19名
本数	110本	26本	550本
面積	18アール	6アール	101アール

(3) 営農指導員の養成

① 栽培指導から鳥獣対策まで営農活動全般に対応できる職員の養成

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
営農指導員資格	6名	7名	9名
施肥診断技術認定者	4名	6名	6名
防除指導員	2名	5名	5名
全中営農指導員資格	3名	5名	5名
有害鳥獣アドバイザー	5名	6名	7名

◎販売事業

(1) 共販物の直接販売の強化と農家手取りの向上

① 農産物直売所の改善と生産者手取り価格を意識した販売

	加工用買取数量	同左単価	経済連等販売数量	手取単価
平成25年度			40,708kg	2.48円
平成26年度	1,578kg	50円	20,258kg	9.67円
平成27年度	10,436kg	50円	15,696kg	27.64円
平成28年度	18,273kg	60円	8,252kg	44.34円

② 行政（学校給食）・地元企業との連携強化による地場農産物の消費拡大

- ・平成28年9月からの学校給食事業開始に伴い、地産地消の新たな取り組みとして本格的に管内農産物を学校給食として納品しています。今後は、蔬菜部会（会員2名の新規加入を含め13名）を中心に進めていきます。平成28年度の販売金額は125万円となりました。

◎購買事業

(1) 予約購買の徹底と引取値引き等により生産資材価格のコスト軽減

	平成27年度		平成28年度		平成29年度
農薬値下げ	18品目 5月実施	18品目 1月実施	20品目 5月実施	19品目 1月実施	14品目 6月実施
肥料値下げ	3品目 9月実施		4品目 9月実施	4品目 1月実施	4品目 7月実施予定